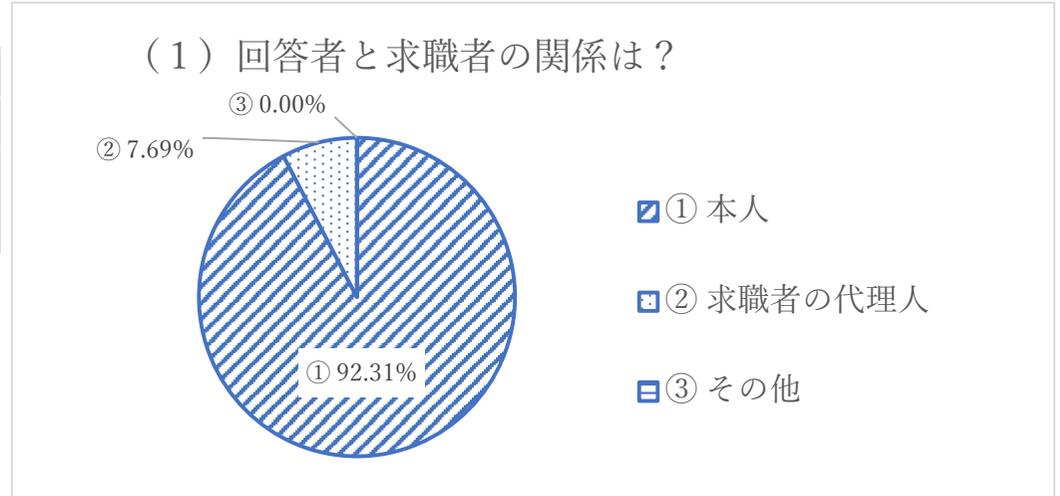


令和6年度紀宝町合同就職説明会（求職者用）アンケート集計結果

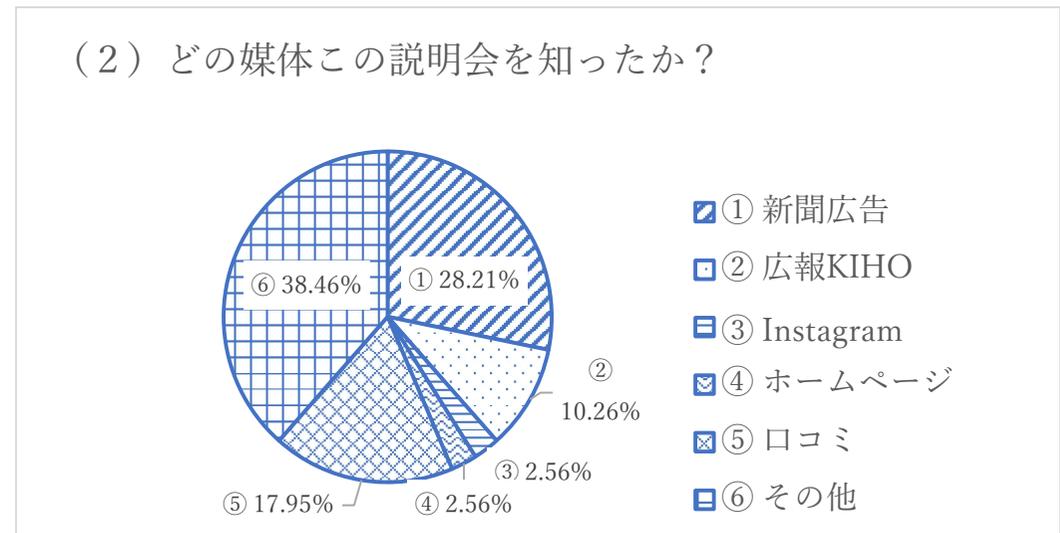
(1) 回答者と求職者はどのようなご関係ですか？

	選択	回答数	割合
①	本人	36	92.31%
②	求職者の代理人	3	7.69%
③	その他	0	0.00%



(2) この説明会をどのように知りましたか？
(複数回答可)

	選択	回答数	割合
①	新聞広告	11	28.21%
②	広報KIHO	4	10.26%
③	Instagram	1	2.56%
④	ホームページ	1	2.56%
⑤	口コミ	7	17.95%
⑥	その他	15	38.46%

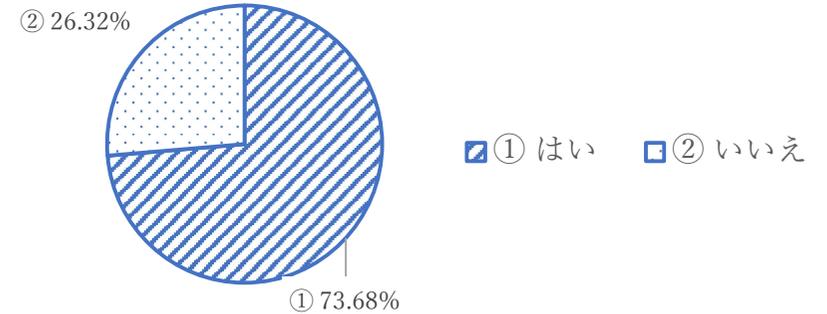


※⑥その他は「紀南高校」「ハローワーク新宮」等

(3) 希望する会社または業種は出展していましたか？

	選択	回答数	割合
①	はい	28	73.68%
②	いいえ	10	26.32%

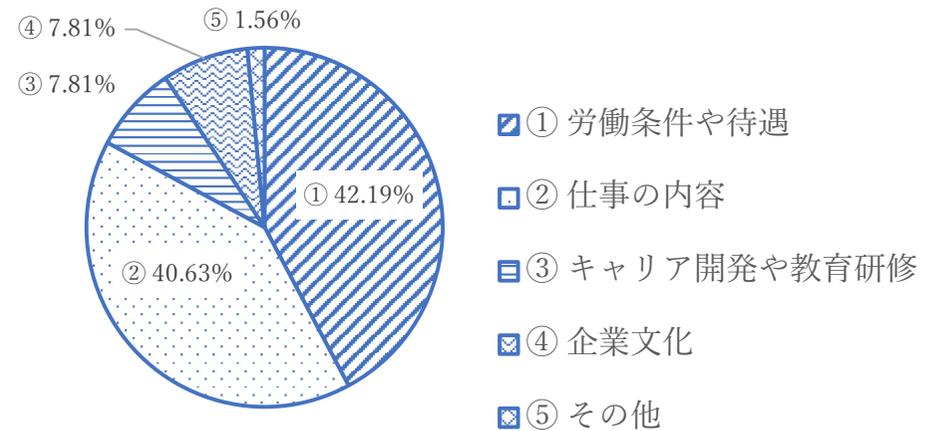
(3) 希望する会社または業種は出展していたか？



(4) 相談会でそのような内容を確認したかったですか？
(複数回答可)

	選択	回答数	割合
①	労働条件や待遇(給与・昇進・福利厚生)	27	42.19%
②	仕事の内容	26	40.63%
③	キャリア開発や教育研修	5	7.81%
④	企業文化(理念・社内コミュニケーション・ワークライフバランスなど)	5	7.81%
⑤	その他	1	1.56%

(4) 相談会で確認したかったことは？

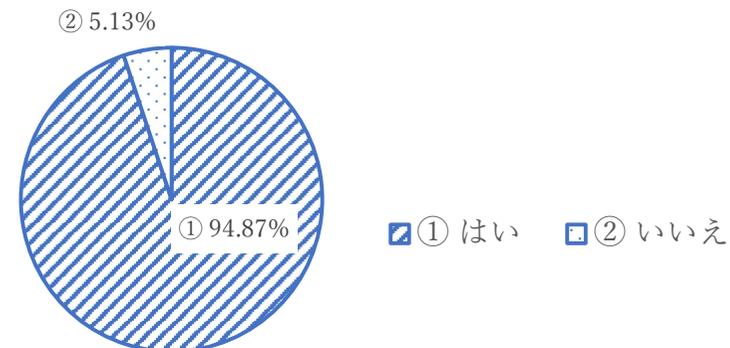


※⑤その他は「付き添い (のため確認したい項目なし)」

(5) 企業との面談で知りたい内容を確認できましたか？

	選択	回答数	割合
①	はい	37	94.87%
④	いいえ	2	5.13%

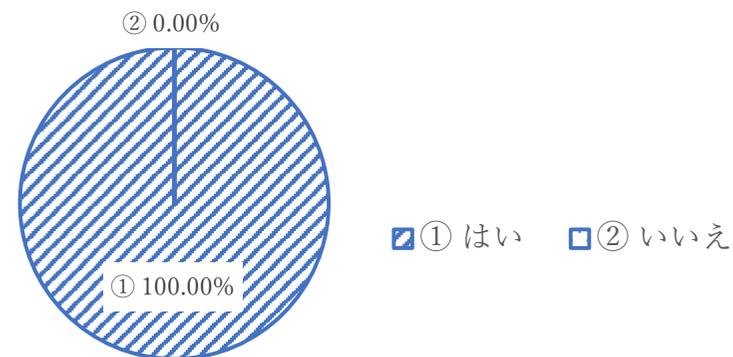
(5) 知りたい内容を確認できたか？



(6) 合同就職説明会の開催は今後も必要だと思いますか？

	選択	回答数	割合
①	はい	39	100.00%
④	いいえ	0	0.00%

(6) 説明会の開催は今後も必要か？



◎欄外の記載

- ・ご親切に説明下さりありがとうございました。土地柄によりあたたかみが違うことを実感しました。

【総括】

前年は Google Forms を使用して求職者にアンケートの回答を依頼しましたが、回答者は 4 名のみと非常に少数でした。そのため、今回から紙のアンケートに変更しました。

また、求職者が負担を感じることなく回答できるよう、設問数を極力絞って作成しています。

◎求職者数について

令和 6 年度紀宝町合同就職説明会における求職者数は、以下のとおりです。

1 月 26 日（日）：19 名

1 月 29 日（月）：30 名（うち高校生 13 名）

合計：49 名（前年 31 名から 18 名増加）

◎アンケート結果の概要

(1) 参加者について

参加者のほとんどは求職者本人でしたが、一部、親族の就職先を探して代理参加された方もいました。

(2) 説明会の認知経路

説明会を知った経路については、回答が分かれました。期待していた Instagram からの来場者は 1 名にとどまりましたが、口コミによる来場者は 7 名でした。

認知度が高まれば、求職者間での情報共有が活発になり、来場者増加につながる可能性があると考えられます。

また、高校生 13 名については、学校からの案内があったことが来場の理由でした。

(3) 希望する企業・業種の出展について

希望する企業または業種が出展していたかという質問に対し、「いいえ」と回答した割合が予想より多くなりました。高校生のうち6名は、事前に面談を希望していた企業と面談できなかったことが理由と判明しました。

一方、一般の求職者でも4名が「いいえ」と回答しており、その具体的な理由は設問数の都合上確認できませんでした。来年度は、参加企業の業種の幅を広げるよう働きかけを行う予定です。

(4) 相談会で確認したかった内容

特に①労働条件や待遇 と②仕事の内容 の回答が多く、①②加えて③キャリア開発や教育研修や④企業文化 についても知りたいという声がありました。また、1名は④企業文化 のみを回答していました。

多くの方は求職段階では給与や仕事内容を気にしておられ、自身のキャリア形成や組織風土といったものは入社後にあらためて考えるということかと思えます。

(5) 企業との面談で知りたい情報を得られたか

「企業との面談で知りたい情報を得られたか」という質問に対し、ほぼすべての回答者が「はい(確認できた)」と回答しました。これは、参加企業の丁寧な対応の結果と考えられます。

(6) 合同就職説明会の必要性

合同就職説明会の開催については、アンケート回答者は、今後も継続を希望するという回答をいただきました。

◎今後の対策

- ・引き続き求職者の来場者数を増やすための方法の検討を続ける。
- ・イベントの定着化や広告手法の見直しを継続する。
- ・アンケートの設問を見直す。